

呼吸器内科学

担当講座	内科学講座 呼吸器内科分野	問合せ先	呼吸器内科分野
分野責任者	川田 一郎 教授	連絡先	内線6252
担当教員	川田 一郎 教授 長島 広相 特任准教授 秋山 真親 講師 内海 裕 特任講師		
人材育成の 基本理念	呼吸器内科学の専門的な知識を有し、呼吸器疾患の病態解明及び新しい治療法の研究が遂行できる人材を育成する。		
主な研究内容	(1) 早期肺がんにおける重症化予測因子に関する研究。 (2) COPD の病態と新しい治療法に関する研究。 (3) 気管支喘息の重症病態と気道リモデリングに関する研究。 (4) 間質性肺炎の肺線維化の機序の解明。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果		該当するディプロマポリシー
	(1) 呼吸不全の病態を学ぶことにより、その診断と治療を理解する。 (2) 閉塞性肺疾患の病態を学ぶことにより、その診断と治療を理解する。 (3) アレルギー性肺疾患の病態を学ぶことにより、診断と治療を理解する。 (4) 肺機能の方法を実践することにより、その意義を理解する。 (5) 肺腫瘍の診断法を実践することにより、その意義を理解する。		1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
到達目標	到達目標		対象科目
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。		ベーシックセミナー
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。		研究方法論
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。		特別研究ⅠⅡⅢ
	(4)解析結果をまとめ、発表できる（英文が望ましい）。		特別研究ⅠⅡⅢ、呼吸器病学7
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。		特別研究ⅠⅡⅢ、呼吸器病学7
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。		特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー
	(7)呼吸不全の病態、診断、治療について説明できる。		呼吸器病学1,2,3,4、呼吸器診断学-2
	(8)閉塞性肺疾患の病態、診断、治療について説明できる。		呼吸器病学2,3、呼吸器診断学-2
	(9)アレルギー性肺疾患の病態、診断、治療について説明できる。		呼吸器病学5、呼吸器診断学-3
	(10)肺機能の意義と方法について説明でき、実行できる。		呼吸器診断学-2
	(11)肺腫瘍の診断法について説明でき、実行できる。		呼吸器病学6、呼吸器診断学-1
資格取得等	総合内科専門医、呼吸器専門医、アレルギー専門医、腫瘍専門医、癌治療認定医		
履修に関する 情報	入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	選 択 必 修	1～4年	講義	呼吸器病学－1	通年	30	4	20単位	※20単位以上の取得可
			講義	呼吸器病学－2	前期	15	2		
			講義	呼吸器病学－3	前期	15	2		
			講義	呼吸器病学－4	前期	15	2		
			講義	呼吸器病学－5	後期	15	2		
			講義	呼吸器病学－6	後期	15	2		
			演習	呼吸器病学－7	通年	30	4		
			演習	呼吸器病診断学－1	通年	30	4		
			演習	呼吸器病診断学－2	前期	15	2		
			演習	呼吸器病診断学－3	後期	15	2		
特 別 研 究	必 修	2年		特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
		3年		特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
		4年		特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

呼吸器内科学

コード	MD14161010					MD14161020					MD14161030					MD14161040				
科目	呼吸器病学－1					呼吸器病学－2					呼吸器病学－3					呼吸器病学－4				
科目責任者	秋山真親					長島広相					内海裕					内海裕				
担当者	秋山真親					長島広相					内海裕					内海裕				
会場	呼吸器内科医局					呼吸器内科医局					呼吸器内科医局					呼吸器内科医局				
区分等	区分	講義	単位	4		区分	講義	単位	2		区分	講義	単位	2		区分	講義	単位	2	
	回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	前期15コマ	配当年次	1～4		回数	前期15コマ	配当年次	1～4		回数	前期15コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	呼吸不全の病態、診断、治療 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す					閉塞性肺疾患（COPD） 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す					閉塞性肺疾患（気管支喘息） 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す					拘束性肺疾患 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す				
教育成果	呼吸不全の病態、診断、治療について説明で きる。					閉塞性肺疾患（COPD）の病態を学ぶことに より、その診断と治療を理解する。					閉塞性肺疾患（気管支喘息）の病態を学ぶこ とにより、その診断と治療を理解する。					拘束性肺疾患の病態を学ぶことにより、その診断 と治療を理解する。				
コンビ・テンス 番号/達成 度	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5
	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8		
	C	C	C			C	C	C			C	C	C			C	C	C		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MD14161050					MD14161060					MD14161070					MD14161080				
科目	呼吸器病学－5					呼吸器病学－6					呼吸器病学－7					呼吸器病診断学－1				
科目責任者	内海裕					秋山真親					長島広相					秋山真親				
担当者	内海裕					秋山真親					長島広相					秋山真親				
会場	呼吸器内科医局					呼吸器内科医局					呼吸器内科医局					呼吸器内科医局				
区分等	区分	講義	単位	2		区分	講義	単位	2		区分	演習	単位	4		区分	演習	単位	4	
	回数	後期15コマ	配当年次	1～4		回数	後期15コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	アレルギー性肺疾患 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す					肺腫瘍 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す					セミナー・抄読会 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す					肺腫瘍の診断法 到達目標の内容を事前に教科書で調べるこ と。各回150分を目安とする。事後学修時間 に2時間の自己学修を要す				
教育成果	アレルギー性肺疾患の病態、診断、治療につ いて説明できる。					肺腫瘍の診断方法を学ぶことにより、その意 義を理解する。					論文や文献を通じてセミナー発表、抄読会を 行うことで研究結果の正しい解釈、解析結果 をまとめることができる。					肺腫瘍の診断法を実践することにより、その意義 を理解する。				
コンビ・テンス 番号/達成 度	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5
	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8		
	C	C	C			C	C	C			C	C	C			C	C	C		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●各科目の授業計画

呼吸器内科学

コード	MD14161090					MD14161100					MD14169010					MD14169020														
科目	呼吸器病診断学－2					呼吸器病診断学－3					特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ														
科目責任者	秋山真親					内海裕					各（正）指導教員					各（正）指導教員														
担当者	秋山真親					内海裕					各指導教員					各指導教員														
会場	呼吸器内科医局					呼吸器内科医局					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定														
区分等	区分	演習		単位	2	区分	演習		単位	2	区分	演習		単位	1	区分	演習		単位	1										
	回数	前期15コマ		配当年次	1～4	回数	後期15コマ		配当年次	1～4	回数	通年8コマ		配当年次	2	回数	通年8コマ		配当年次	3										
主な授業内容	肺機能到達目標の内容を事前に教科書で調べることに。各回150分を目安とする。事後学修時間に2時間の自己学修を要す					アレルギー性肺疾患の診断到達目標の内容を事前に教科書で調べることに。各回150分を目安とする。事後学修時間に2時間の自己学修を要す					・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成　・初期審査の準備 事前事後学修時間に合わせて4.5時間の自己学修を要す					・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備 事前事後学修時間に合わせて4.5時間の自己学修を要す														
教育成果	肺機能の意義と方法について説明でき、実行できる。					アレルギー性肺疾患の診断方法を学ぶことにより、その意義を理解する。					生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜初期審査＞2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜中間審査＞3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。														
コンビ・テンス番号/達成度	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5										
	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B										
	コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8												
	B	B	B			A	A	A			C	C	C			B	B	B												
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の欠席は履修手帳で管理する。 ＜当該科目に関連する実務経験の有無　有＞ 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。										各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。										各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。									
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。										「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																			
講義日程	時間割参照																													
教科書 参考書																														

コード	MD14169030																			
科目	特別研究Ⅲ																			
科目責任者	各（正）指導教員																			
担当者	各指導教員																			
会場	各指導教員と相談の上決定																			
区分等	区分	演習		単位	2															
	回数	通年15コマ		配当年次	4															
主な授業内容	・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備 事前事後学修時間に合わせて4.5時間の自己学修を要す																			
教育成果	生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 ＜論文作成＞学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。																			
コンビ・テンス番号/達成度	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5															
	A	A	A	A	A															
	コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8																	
	A	A	A																	
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。																			
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書 参考書																				

●時間割

呼吸器内科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						共通教育科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30		呼吸器病診断学-2				
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30	呼吸器病学-1	呼吸器病学-7	呼吸器病学-2	呼吸器病学-3	呼吸器病学-4	
6 限	19：40～21：10	特別研究Ⅰ～Ⅲ			呼吸器病診断学-1		
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						共通教育科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30	呼吸器病学-1	呼吸器病学-7	呼吸器病学-5	呼吸器病学-6	呼吸器病診断学-3	
6 限	19：40～21：10	特別研究Ⅰ～Ⅲ			呼吸器病診断学-1		

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						